

で、ホームステイ先は 釧路北ロータリーで行ない
ます。スリランカ出身で2005.4から2006.10まで岩手
大学で小麦の穂発芽耐性について研究、現在帯広畜
産大学で研究を続けています。博士の資格取得が目
的でスリランカの大学の教授をするために博士号が
必要との事です。

■会長報告

曾我 彰夫副会長



本日は、高橋会長が在席し
ておられますが、ご好意で副
会長の私が挨拶することとな
りました。どこの団体でも副
会長は盲腸みたいなものであ
ってもなくてもいい存在です。

最後に仕事を作ってくれたも
のと思います。まずは、一年間ありがとうございました。
前の方に座っていただけであり役に立っていま
せんが、それなりに緊張していました。さて、本題で
すが、コムスンについて感想を少々お話しします。

私が20代の終わり頃、市内のお客様の1人に曾我
君急に会社を大きくしたら駄目だと言われました。
つまり急成長会社に落とし穴があるのです。2・3の
例を上げれば、第一に若くして商売をする場合は、
大抵は儲けることが一番に頭に入ります。

本来であれば社会や人のためにどう役立てるかか
ら入れば、マスコミに載るような失態はないはずで
す。どうしても、個人のエゴから入りやすいのでこ
こから全て間違いを起こすのです。多店舗展開する
から、店長クラスの人が多くいます。人はそんなに
早く育ちません。これがクレームの原因にもなります。
上場でもするとマスコミも騒ぎ、時には舞い上
がるしあちらこちらで引っ張り出され、本業もおろ
そかになり、業績が下がると粉飾をして、更には、
法も破ります。利益を仮に上げれば脱税もします。
若い集団が多いので、暴走して何とか表面をつくら
うが、すぐにメッキがはがれ今回のようなケースに
なることがいかに多いか。社会正義、商道德は常に
生きているのです。急成長してすばらしい企業も多
いけれど、落とし穴に入る企業も少なくないのです。
30年以上前に言われたが今になり少し解ってきました。
ありがとうございます。

■会務報告

國枝 千秋幹事

(1)帯広RC、今年度最終クラブ協議会開催のご案内

日 時 平成19年6月20日(水)午後6時

場 所 帯広東急イン

(2)年度末最終夜間例会開催のご案内

イ、帯広南ロータリークラブ

日 時 平成19年6月25日(月)午後6時

場 所 北海道ホテル

ロ、帯広東ロータリークラブ

日 時 平成19年6月26日(火)午後6時30分

場 所 帯広ワシントンホテル

ハ、帯広ロータリークラブ

日 時 平成19年6月27日(水)午後6時

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

ニ、帯広西ロータリークラブ

日 時 平成19年6月28日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

ホ、帯広北ロータリークラブ

日 時 平成19年6月29日(金)午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

■委員会報告

・出席委員会

藤井 敏雄委員

6/13の例会 会員総数106名(内出席免除会員12名)

本日の出席者68名

5/30のメーキャップを含む出席者79名 83.2%

5月の平均出席率 89.3%

・ニコニコ献金

金崎 信二会員

本日新入会員卓話をさせていただきます。東京より
早い夏の訪れに驚いています。

近藤 敦志会員

本日新入会員卓話をさせていただきます。宜しく
お願いします。

・ご結婚祝い

安達 秀昭会員



・米山の夕べ

去る6/12行なわれました『米山の夕べ』の風景です。

■閉会宣言

田中 一朗SAA

■点鐘

高橋 猛文会長

■次回プログラム予定

『会員卓話』 (親睦活動委員会)

秋元 和夫プログラム委員長

『リテラシーをどう身につける』



ROTARY CLUB OF

OBIHIRO

DISTRICT 2500

2006-2007年度国際ロータリーのテーマ

率先しよう LEAD THE WAY

方針

原点

会長

高橋 猛文

■プログラム

プログラム委員会

『新入会員卓話』金崎 信二会員・近藤 敦志会員
【金崎信二会員卓話】



ただいま紹介いただきました
金崎です。よろしくお願い
申し上げます。

本日の趣旨は私の履歴につ
いてお話するということですが、
自分はごく普通の銀行員
で支店や本部を行き来してい

る人間で、あまり皆様に興味のあるお話はできない
と思います。従って、銀行に入社するまでのお話に
少し重点を置いてお話することにいたします。

私は1961年4月19日に神奈川県横浜市で男3人兄弟
の次男として誕生いたしました。

まず4月19日というのは先ごろ行われた全仏オー
プンで準決勝進出したテニスの若き女王マリア・シ
ャラポワと同じ日です。彼女の誕生が1987年ですか
ら、私は26歳年上ということになります。17歳でウ
ィンブルドンを制してからの活躍ぶりは皆様ご存知
のとおりですが、私も彼女に負けないように頑張ら
なければと思っております。勿論テニスや容姿は磨
きようがないので、みずほ銀行帯広支店のお客さま
を増やすなどほかのところで努力したいと思っています。

次に団子3兄弟の次男として育ったことについて
ですが、会員の皆様に同じ境遇の方がいらっしゃっ
たらお話ししたいのですが、想像を絶するほど奔放
に育てられています。進路や就職、結婚に至るまで、
よく言えば自主性を重んじてもらえたのですが、
言い方を変えればほとんどお構いなしでした。ただ、
必要なアドバイスや援助は都度してもらい、今の自
分があるのは言うまでもありません。

幼稚園の唯一の思い出は初恋です。たまたま隣に

座ったりえちゃんが、すぐくお姉さんに見えて、い
つも憧れて見ていたのを覚えています。ある日集団
下校するときに隣になり、手をつないで帰ったので
すが、一言もしゃべれなかった記憶があります。

小学校に入ると、父の転勤の関係で毎年のように
転校を繰り返すことになりました。結局小学校を4
回変わることになるのですが、何を思ったのか、転
校した先々で必ず学級委員に立候補しました。何も
強い志とか使命感があったわけではなく、秀才であ
る兄がいつも学級委員になっていたの、自分も学
級委員をしなければならないと勘違いしていただけ
でした。

中学校に入ると、学級委員はやめ、好きだった将
棋をはじめました。そこそこの勝率だったように記
憶していますが、今思うとこの時期にスポーツをし
ていなかったことが悔やまれます。何も運動をして
いないのに、なぜか長距離の記録がどんどん伸び、
マラソン大会では毎日走っている陸上部やサッカー
部、バスケットボール部の連中がライバルでした。
ちなみに中学校3年生のマラソン大会では全校620人
中12位入賞でした。

高校は神奈川県の公立高校で、中学時代の苦い経
験から必ずスポーツをやろうと決心していました。
走力を生かしたラグビーをやりたいかったのですが、
ラグビー部がなかったため、サッカー部に入部しま
した。ところがまわりは経験者ばかりで、初心者
は20人中2人だけ。上級生や下級生も同じ状況で、ほと
んど先発出場はできませんでした。試合の時はライ
ンズマン (今は副審といいます) 専任のような役割
になっていました。しかしこのときの経験が役立ち、
後に少年サッカーのコーチをすることになります。
話はとんでしまいましたが、息子が小学校時代はず
っとコーチをしまして、土日祝祭日は全くなしと
いう生活が続きました。高校時代の経験からBチー



例会日/水曜日 12:30~13:30 例会会場/ホテルノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日●認証番号/3820●戦後再開/昭和25年12月19日



事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ会報●委員長/和田 賢二・石神 美代・加藤 維利・小部 敏一・小白 智志
木本 健・佐藤 睦浩・宇佐美 暢子

●ホームページアドレス/http://www.tokachi.co.jp/obihiro-rc/

No. 2751

第3069回例会

平成19年6月13日

ム（カプリコーン）で頑張っている子供たちの気持ちがよくわかります。Aチーム（スコービオ）の子供が2回で覚えるところ、Bチームの子供は10回でようやく覚えます。ただできるようになった時の笑顔はとても素晴らしくかわいいもので、病みつきになりました。子供たちの両親より自分のほうが接する時間が長いことに違和感を覚えることもありませんでした。横浜マリノスの下部組織に進んだ子供もいますが、卒業して6年たった今でも思い出すのはBチームの子供たちのことです。

現役時代はほとんど勉強しなかったこともあって、大学は1年浪人して学習院大学の法学部に入学しました。

正直大学受験は満足いくものでなかったのですが、入学後はいくかで頭角を現さなければ、とはいってもサッカーのように仲間が幼少からやっているスポーツでは分が悪いので、通常大学からはじめるスポーツであるボートをやることにしました。この選択も非常に厳しい試練が待っていました。何せクルーの平均身長は183センチです。ボートで弧の大きさをレンジといますが、身長差がそのままレンジの大きさに比例し、クルーはレンジの小さい者ではなく大きい者に動きを合わせるよう指示されます。私の身長は170センチです。それこそ1本1本漕ぐのが精一杯で、2000m先のゴールに到着したときは身動きできないくらいに疲労が蓄積されています。

それでも相当な心意気で入部したものですから、エイトで行われる全日本新人戦メンバーに、1年生でただひとり選ばれました。周りは金子進会員や讃岐会員、新田会員クラスの大男です。一日10時間にも及ぶ練習で、何とか巨大な先輩についていけるようになりました。背筋力は半年で133キロから190キロになりました。ちなみに190キロというのはプロ野球選手や槍投げの選手なみです。当時ヤクルトのルーキーだった荒木大輔選手は150キロ台だったと記憶しています。

少し不謹慎と言われるかもしれませんが、社会人になってからもボート部時代ほどの極限に追い込まれたことはありません。何かあってもこの時のことを思い出すと大抵のことは苦にならなくなります。

もう時間もありませんが、ようやく就職のお話に入ります。

先輩との相性もあって、1985年に当時の第一勧業銀行に入行します。

東京タワー・増上寺の近くにある浜松町支店で丁度5年を過ごします。

妻浩子は私が入行して1ヶ月で退職します。勿論私が原因ではありません。そのときまで2言3言しか

話したことがなかったので。なれ初めをお話するとそれだけで10分くらいかかりますので、ここでは割愛します。またの機会にお話できればと思います。

2ヶ店目は大阪の船場支店です。子供が生まれて2ヶ月での転勤です。非情な職場だと思いました。当時はバブルがはじけかけていましたが、大阪ではまだゆるゆるでして、多くの銀行が信じられないような条件で攻勢をかけてきます。私の最大のハンデは大阪弁がまったくできないことです。「毎度！」のひとことがなかなか言えません。おだやかに「まいど」では挨拶になりません。ハードネゴをしようと思っても、東京弁をまくしたてるからと相手にしてもらえません。先輩から、「ほな考えておきます」と言われたら断りの文句だと聞いていましたから、トレースもしないでおいたところ、お客さまから「なぜあのあと来なかったんだ」と激怒されたこともありました。

大阪ではもうひとつ苦い思い出があります。宝くじです。今もそうですが、売れ行きが悪かったりキャンペーンを行っていたりすると行員にも割り当てがあり、そのときも1枚100円のくじを100枚持ってでかけました。大変忙しい日で、10枚しか売れず、残り90枚は自分で買うことにしました。当選日になって、行員が売ったくじで10万円が当たってそうだとということになりました。元来運がなくあきらめていましたが、何か自分が手元に持っているくじの近くが怪しそうです。もう一回見直しましたが、一部だけ空白になっていました。もしやと思って10枚売ったお客さま（4億円の個人預金先）に尋ねたところ、「あたっとったでー」と言われました。しかしやさしいお客さまは（今ではコンプライアンス違反と言われかねませんが）1万円の商品券を差し出してくれました。「これで元が取れた」と思い、当時の副支店長に報告し商品券を渡したところ「あっそ」といって没収されてしまいました。

そんな経緯をもっている私ですが、ジャンボの時期には行員をつれてロータリー会場に参りますので、どうぞ協力お願い申し上げます。

その後、店舗企画室・審査部・昭和通支店・大阪営業部・事業調査部・A・L・Cアドバイザー部を経て4月に帯広支店に参りました。ご存知のように帯広支店は旧富士銀行の流れを汲みます。私は第一勧業銀行出身の初の支店長です。しかし現帯広支店の店舗は、もともと旧日本勧業銀行が使用しており、帯広ロータリークラブもこの店舗で開催されていたと聞いております。みずほ銀行と帯広ロータリー、私と帯広ロータリーもこのように大変強い絆で結ばれていることを感じております。どうぞ今後ともよ

ろしくお願い申し上げます。

【近藤敦志会員卓話】



昭和31年9月生まれで今年51歳になります。

生まれたところは女満別町ですが、親の仕事の関係で3歳のときに留辺蘂町、現在の北見市に移り、留辺蘂では幼稚園から高校まで過ごしておりました。留辺蘂には現在も両親がおり、年に何回か帰省しております。

当時も現在も同じですが、小中高はそれぞれ1校しかありませんでしたので、小学校のときは1学年に200名以上の生徒がいて、小学校も1,000人を超える子供がいて町も結構にぎわっていました。現在は産業の衰退に伴い人口も8,000人程度の高齢者の多い町になっています。小中高が1校しかないため同級生は幼稚園からほとんど同じで、いじめもない楽しい子供時代を過ごしていました。

高校卒業後、千葉県習志野市にある千葉工業大学に入学しました。大学は総武線の津田沼駅前にあり、私が入学した当時は駅の周りに何もなくて寂しいところだと思っていましたが、1年もするとデパートが乱立し、当時、津田沼デパート戦争として報道されたぐらい一気に賑わう町に変わりました。

大学では4年間クラブ活動をしており、ハワイアンクラブに入っていました。踊りをやっていたわけではありませんが、バンドとしてキーボードを担当していました。年配の方はご存知かと思いますが、一時期は盛んな時代があったそうです。もちろん私が入部したときはそんな時代ではなく、耳にすることはほとんどありませんでしたが、入部したら即レギュラーという友人の誘いがあり、それにつられて入部していました。

バンドではスチールギターを使った本格的なハワイアンからロック、歌謡曲まで幅広いジャンルの音楽をやっていました。これは、クラブの資金稼ぎのバイトのためで、当時、7月から9月まで大学の向かいにあった長崎屋のビアガーデンで演奏をしていました。リクエストがあれば何でも演奏し、バイト代は今から30数年前で50万ぐらいいただいと記憶しています。また、演奏前には食事が付いていましたので、我々貧乏学生にはとっても助かるバイトでした。

昭和55年に大学を卒業し、当時の日本電信電話公社に入社しました。採用通知を見て驚いたのですが、職種が「無線」、入社先が「旭川無線中経所」と書かれており、電電公社といえば電話線のイメージし

か持っていませんでしたので、無線という仕事は何をするのか不安になりました。

電電公社における無線という仕事は、長距離通信のマイクロ無線やポケットベル・自動車電話といった移動通信設備の維持管理業務を行っていて、現在は移動通信事業をドコモが扱っています。

無線という仕事をしていたのは旭川にいた5年間で、その後は開発の仕事に従事し、東京と札幌を行ったり来たりしていました。平成3年に東京に異動になったときにNTTから移動通信事業を分社する準備室に入り、そこでは全国の通信網を監視する社内システムの開発を行っていて、平成5年にそのままドコモに転籍となりました。

平成8年にドコモ中央からドコモ北海道に異動になり、現在に至っているわけですが、ドコモ北海道ではいろいろな仕事を担当してきました。経営企画、新規事業開発、マーケティング、人事等、異動のたびにまったく業務内容が変わるため、幅広い経験はできてもスキルのにはあまり身についていません。

ドコモ北海道で経験した仕事で最も思い出深いのは、iモードの立ち上げです。iモードは平成11年2月にサービスを開始しましたが、こちらも1年前からプロジェクトを作り行ってきました。サービス開始に向けて最も苦労したのが社内の理解を得ることでした。当時は通話だけで十分な収益があり、パケット通信という新しいサービスは必要ないというのが営業・販売部門の考えでした。これからは通話だけでは競争に勝ち残っていけないということと、インターネットビジネスは益々盛んになることを社内に訴え、少しでもiモードが使える端末を購入するよう社内を説得することに相当なパワーを使っていました。

自宅は石狩市にあり単身赴任をしていますが、やっと生活のリズムがつかめてきました。現在はドコモのエリア状況の確認と土地勘を身に付けるため十勝管内を車で走りまわっています。今後ともよろしく願いいたします。

■点鐘 高橋 猛文会長
■開会宣言 田中 一郎SAA
■ロータリーソング(奉仕の理想) 田中 一郎SAA
■米山奨学生紹介 小倉 豊会員



一年間米山奨学生コーテアラッチ・ニーシャ・スラリ様のカウンセラーを勤めることになりました。よろしく願いします。ニーシャさんの世話子クラブは、帯広西クラブ